

佐潟の将来をみんなで考えるワークショップ開催結果について

1 概要

佐潟周辺自然環境保全計画の一部改定を機に、「2050年の理想の佐潟」を検討するため、地元の方々をはじめとした市民ワークショップを2回開催した。寄せられた意見を、「佐潟の将来像」としてイラストで表現し新計画に盛り込む。

2 開催日時

(1) 第1回目：平成30年5月27日(日) 午後1時30分～4時

(2) 第2回目：平成30年7月22日(日) 午後1時30分～4時

3 会場：西区赤塚公民館 2階ホール

4 開催内容

(1) 1回目

- 「潟の記憶」映像紹介(潟環境研究所)
- 「赤塚・佐潟地図研究会などの取り組みについて」
-過去から未来へ みんなでつなぐまちづくり- 磯貝尚輝氏(新潟国際情報大学)
- 潟環境研究所委託業務紹介～佐潟の将来像提案～(法政大学)
- ワークショップ(4グループで意見交換)

(2) 2回目

- 佐潟と歩む赤塚の会取組紹介 涌井晴之氏(佐潟と歩む赤塚の会 代表)
- ワークショップ(4グループで意見交換)

5 参加者

- 1回目：34人、2回目：27人

6 2050年の佐潟について(主な意見)

(1) 自然環境の保全

- ヘドロがなくて底が見える、子どもたちが中で遊べて泳げる佐潟
- 水がきれいでハスマつりができる佐潟

(2) 賢明な利用(ワイズユース)

- 多くの人が多様な楽しみ方ができる佐潟
- 潟の産物、砂丘地の産物、潟と砂丘地のレクリエーションが一体として認識される施設があり、情報発信がされている佐潟